

# 萩市企業景況調査

D I 方式

平成20年 1月～ 3月期 実績  
平成20年 4月～ 6月期 予測

D I (ディフュージョン・インデックス) 方式とは？

D I は各調査項目について判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向（「悪い」）の回答割合が多いことを示す。

◎D I = (増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」の回答割合)

※設備投資は割合 (%)

《調査機関》萩商工会議所

景況、先行きに停滞感。 —需要停滞、仕入価格上昇や原油高が重しに—

## 景況の概要

平成20年4月実施の景況調査の集計結果は以下のとおり。(調査対象企業：萩市内60社、回収率97%)

**生産・売上** 1～3月期の季節要因などから前期比D Iが全ての業種で減少(平均▲44.8)。前年同期比も小売業を除き減少(平均▲29.3)となった。今後(4～6月期)の見通しでは、本格的な観光シーズンをむかえる観光関連業(+55.6)が増加すると予想している。

**収益** 生産・売上同様、総じて厳しい状況にあるものの、今後の見通しでは観光関連業が増加(+22.2)すると予想している。

**資金繰り** 売上・収益面の不振などから、今後の見通しでは観光関連業を除き悪化すると予想。

**経営上の問題点** ①需要の停滞 46.6% ②仕入価格の上昇 17.2% ③同業他社との競争激化および設備・店舗の老朽化が6.9%の順などとなっているほか、原油高によるコスト増加などが挙がっている。

**今後の業界動向** 各業界の景気見通しは、先行き停滞感などから全ての業種(平均▲75.9)すると予想。特に建設業・製造業の停滞が目立っている。

**景況に関する生の声** ■建設業 リストラや企業体制の再構築しないと生存できない業種となってきたが、先の予測が難しい。■製造業 定年者を再雇用しているが、若い経験者が不足(精機)。数ヶ月間は前年実績上回っていたが、3月に入り低調となり今後に不安(萩焼)。紙の値上げで困っている、パソコンの普及で注文減少(印刷)。仕入価格上昇で価格転嫁せざるを得ない(蒲鉾)。■卸売業 大型店等の進出で地方経済停滞(酒類)。■小売業 人口減少によりマーケット縮小(宝飾)。問題が多過ぎる(コンビニ)。個人消費の停滞(萩焼)。競争激化(ホームセンター)。原料高による仕入価格上昇、消費減速の可能性高い(大型店)。■サービス業 原料高により仕入値上りして大変、厳しい経営続く(クリーニング)。■観光関連業 大型ビジネスホテルができ競争激化懸念、個人のカード利用(ポイント集め)が目立つ(ホテル)。材料費・LPガスの大幅値上げで困っています、今後の見通し立たず(工房)。

項目 / 業種		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	観光関連業	平均	前年平均	前々年平均
生産・売上	前期比	▲20.0	▲70.0	▲33.3	▲10.0	▲60.0	▲77.8	▲44.8	▲43.9	▲49.2
	前年同期比	▲30.0	▲20.0	▲11.1	20.0	▲60.0	▲77.8	▲29.3	▲19.3	▲37.3
	20年4月～6月期見通し	▲60.0	0.0	▲11.1	▲10.0	▲11.1	55.6	▲7.0	▲7.0	3.4
収益	前期比	▲40.0	▲70.0	▲25.0	▲30.0	▲40.0	▲77.8	▲47.4	▲36.8	▲39.0
	前年同期比	▲60.0	▲10.0	▲33.3	▲20.0	▲30.0	▲88.9	▲39.7	▲15.8	▲40.7
	20年4月～6月期見通し	▲70.0	▲30.0	▲50.0	▲20.0	▲10.0	22.2	▲26.3	▲10.5	▲1.7
資金繰り	前期比	▲50.0	▲30.0	▲11.1	▲20.0	▲30.0	▲55.6	▲32.8	▲10.5	▲22.0
	20年4月～6月期見通し	▲50.0	▲40.0	▲22.2	▲20.0	▲10.0	0.0	▲24.1	▲14.0	▲1.7
従業員数 20年3月末		▲50.0	▲10.0	▲33.3	0.0	20.0	22.2	▲8.6	▲1.8	5.1
設備投資	(実績)	10.0	30.0	11.1	10.0	0.0	11.1	12.1	15.8	18.6
	(計画)	10.0	10.0	11.1	20.0	10.0	11.1	13.8	17.5	13.6
業界動向		▲100.0	▲90.0	▲44.4	▲60.0	▲80.0	▲77.8	▲75.9	▲52.6	▲40.7